

CONTENTS

● 第12回通常総会、懇親会	1	● MIDI規格委員会、製品安全環境委員会からのお知らせ	5
● 会長挨拶・新任副会長挨拶・新任理事挨拶 新任監事挨拶・新任委員長挨拶 新任PJリーダー挨拶・役員名簿	2・3・4	● 平成20年度事業計画・組織図	6・7
		● AMEI会員名簿・新入会員のご紹介 通常総会議事録の開示案内・「ねんきん特別便」の広報用資料案内	8

第12回通常総会



第12回通常総会が5月15日午後4時から東京飯田橋のホテルエンドモントで開催されました。開催に先立ち、加藤博万会長の挨拶があり、続いて経済産業省商務情報政策局文化情報関連産業課課長補佐 木本直美様から来賓挨拶を頂きました。

定足数の発表（正会員62社、出席35社、委任状26通）と総会の成立が事務局から報告され、加藤会長が議長に選任され、議事録署名人2名（株式会社ハドソン井上正明氏、株式会社タイトー笠間信一郎氏）選任のあと、議案審議に入りました。

1号議案「平成19年度事業報告」、2号議案「収支決算報告と監査結果報告」それぞれ承認、3号議案「任期満了に伴う役員選任」は再任理事20名、新任理事7名、再任監事1名、新任監事1名が承認され、新任役員によるご挨拶がありました。

通常総会はここで一時休会し、この間に、会長、副会長、専務理事、常務理事を互選により決めるため、選任された役員による臨時理事会が別室で開催されました。

15分の休会後、議事が再開され、臨時理事会の結果が務運営委員長より報告されました。（内容は本誌役員名簿参照）

4号議案「平成20年度事業計画」、5号議案「収支予算」がそれぞれ承認され、近藤公孝副会長より閉会の挨拶があり第12回通常総会は終了しました。

続いて午後6時から「通常総会懇親会」が開催され、主催者加藤会長の挨拶の後、ご来賓各位からのご挨拶に続いて、社団法人日本音楽著作権協会常任理事 近藤正美様による乾杯のご発声により、賑やかに懇親の会が始まりました。席上、このたび退任される西澤一朗副会長に、AMEIの諸活動への多大なご尽力と協会発展へのご協力に対して加藤会長から、感謝状と記念品が贈呈されました。

会は、その後も盛り上がりましたが、和田康孝副会長の中締めの後、午後8時過ぎ散会いたしました。

ご挨拶

加藤 博万 会長

ヤマハ株式会社 取締役 専務執行役員

会員の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃より当協会をご指導いただいている経済産業省の方々、各企業の皆様、そして各団体の皆様のご支援を心より感謝申し上げます。

さて、当AMEIも創立12年目を迎えました。

昨今のAMEIを取り巻く環境のいくつかのポイントを振り返りながら、この後の業務の方向性などを考えてみたいと思います。

前年は着メロ携帯の変化がさらに明確になり、着うたや楽曲配信等のオーディオ配信への比重が、より顕著になった年と思います。

この面では携帯音楽配信業界のLess Midi, more Sampleへの動きは明確であり、AMEIとしてもMIDIに新しい価値観を与えることが次なる携帯電話のMIDIコンテンツの有用性のために重要な課題になりつつあるのを感じます。このたび新しくRP (Recommended Practice) 化されたMMI (Mobile Musical Interface) 仕様もこの様な方向での取り組みと考えております。MIDI規格の世界の盟主として、世界中の音楽・楽器関係者に愛され使われ続けることを目指し、その新しい応用や機能の拡充を考えることもAMEIの活動の一つと思います。

MIDIを用いた映像制御に関する規格のRP化や、プロトコルの拡充を目指した新規技術の検討、研究会等を進めて行きたいと考えます。

また、昨今の情報社会では、あらゆる情報がネットに集中することにより、その情報の「量がたくさんあるということ」そのものが情報としての価値を生み出しているわけですが、この量の増殖に対する効率的な対応が課題になりつつあると思います。たとえばグーグル検索の普及は、膨大な情報量から欲しい情報を効率よく探し出せるという機能が優れている故に、私たちユーザーに広く受け入れられているわけです。

AMEIに身近な問題としては、増え続けている配信の実情に伴い、その配信実績を管理する作業の量的な爆発があります。配信実績情報の効率的な管理は、著作権処理の基本的なワークフローの中で必要不可欠なステップです。著作権処理の効率化という面から、コンテンツプロバイダーへの支援という面からも、「量」に対応できる配信実績管理のセンター構想などについても、検討への参加を考えたいと思います。

いつもながら、「MIDI規格の推進」と「楽曲の著作権処理」は、AMEI活動の最重要領域と考えております。このどちらが欠けても健全な音楽ソフト産業の振興はあり得ないわけで、この両テーマの中で私たち会員がAMEIの活動をメリットとして享受できる活動項目を明確にしていくことが重要であることを、再認識しております。

この点でも、多忙な中、各種委員会活動に力を発揮させておられる関係の皆様には、心から感謝を申し上げるとともに、今年もよろしくお力添えをお願い申し上げます。

更なる電子音楽業界の発展に寄与することを目指し、会員の皆様のご協力とご支援、また経済産業省をはじめとする関連省庁の方々のご指導を仰ぎながら、活動、努力していく所存です。



新任副会長挨拶

近藤 公孝 副会長

ローランド株式会社 常務取締役

この度、副会長という大役を仰せつかりました。力の及ぶ限り、その重責を果たすべく努力をいたしたいと存じますので、なにとぞご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

MIDI規格誕生から、はや四半世紀が経過しようとしております。

その間、インターネット、携帯情報端末、高機能化するゲーム機などを通して、音楽や映像などのコンテンツが個人の手に直接届く高度情報社会が現出してまいりました。

AMEIは、電子楽器のみならず通信や映像機器、またコンテンツ制作関連といった広い分野の企業の皆様にご参加いただいております。高度情報社会の流れに対応し、さらに発展させていく必要があると改めて感じております。

MIDI規格は、音楽を楽譜や録音以外の形で扱えるようにし、楽器演奏にとどまらないアプリケーションを実現してきました。近い将来、MIDIによって楽器と映像機器が連動するようになれば、コンテンツ利用アプリケーションが拡張していく可能性をもつことになると考えております。

一方、デジタルコンテンツの著作権保護の問題についてはまだ多くの課題があり、協会に課せられた責任はますます大きくなると感じております。

また、世界的な環境保護問題では、RoHS/WEEEに対するコンプライアンスの観点だけでなく、天然資源やエネルギーを消費する音楽電子事業者として積極的に取り組む必要性を感じております。

このような時代のうねりの中、電子音楽業界の発展に寄与し、どのように社会に貢献していくのかを協会の皆様とともに答えを見つけていきたいと考えております。

皆様のご支援、ご協力を改めてお願い申し上げます、就任の挨拶とさせていただきます。



新任理事挨拶

大浜 和史

日本シンセサイザー・プログラマー協会 理事長

この度理事に就任いたしました大浜です。AMEI委員会ではMIDI検定を企画、実施してまいりました。またJSPAではMIDI検定ガイドブック、試験問題作成を始め会場運営に至るまでの協力をさせて頂いています。皆様のお陰をもちましてMIDI検定も開始から10年になりました。現在は受験者の数も3万人に達しようとしています。

MIDI検定は入門の4級、中核となる3級、実務の2級筆記、2級実技で構成しています。専門学校、音楽大学、音楽教室では教材として、教育目標として定着してまいりましたが、若い世代の難しい事より身近な楽しみを求める風潮を反映してか、受験者も専門的な3級、2級は少し減少し、反対に4級は増加しているという傾向があります。4級受験者をいかに3級、2級に結びつけるかが今後の課題であり、減少に歯止めをかける対策でもあると考えています。

さてMIDI検定委員会では「ミュージックメディア入門」4級対応ガイドブックを改訂し、この3月に2008年改訂新版として販売を開始しました。コンピュータを使った音楽の楽しみ方を、最新機材の写真で分かりやすく構成しましたところ、販売も好調で各方面からご好評を頂いております。会員各社の新入社員研修などにもぜひご活用頂ければ幸いです。

また検定合格者から講師を養成する指導者認定講座も、この夏に2級実技指導者の養成講座が新たに加わり、MIDI検定の教育システムが完成する予定です。若い講師の方々には次世代のMIDI学習指導を拡大してくれるものと期待しています。

さらに今年度は「MIDI検定1級」を検討し、年度内に実施する計画を進めています。

MIDI検定の集大成であり頂点を極める「1級」が実現すれば、学習者に新たな象徴として目標と励みになり、MIDIの普及にも大いに貢献できるものと期待しています。

今後ともMIDI検定共々宜しくお願いします。



飯村 泰弘

学校法人 片柳学園 日本工学院八王子専門学校 副校長

AMEI会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたびの通常総会におきまして理事に選任され、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

私自身は3年ほど前まで楽器業界にありました関係から、JEMSAの時代、またAMEIとして発足してからもういふんとお世話になりました。特にAMEIの創成期においては日本経済新聞社さんとの共催によるMIDIフェアなどの事業関連でお手伝いをさせていただき、MIDIの普及に努めた次第です。

その後、2005年に20年間お世話になりました楽器業界を離れ専門教育の世界に移りましたが、こちらでも何かと業界の皆様にお世話になり、特にAMEIにおいては「MIDI検定」で多大なご協力をいただくことになりました。

片柳学園は日本工学院という3つの専門学校（蒲田・八王子・北海道）と東京工科大学を有する学園で、工業、情報、医療、スポーツと多彩な分野に加え音楽をはじめとするエンターテインメント系の学部、学科も多数存在します。なかでも音楽系の学科ではMIDI検定を必須の資格として位置づけ授業にも取り入れることとしました。

デジタルオーディオの時代であっても、その基本ともいえるMIDIに関する知識は確実に身につけて欲しいと考えているからです。

いずれにしても会員の皆様のご協力とご支援を賜りながら、これからの将来を担う学生の教育におなご協力いただくと考えております。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



谷口 恵治

株式会社ヤマハミュージックメディア 代表取締役社長

AMEI会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度、当協会の理事に就任させていただきましたことになりましたので、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

弊社の事業の柱の一つは楽譜出版ですが、その展開の中でMIDIデータを楽器店の店頭端末でダウンロード販売するというユニークなサービスをしております。又、もう一つの柱は、着メロ配信やPCカラオケサービスで、こちらもMIDIの応用事業です。

個人的にはMIDI規格が誕生した83年にシンセサイザーの商品担当をしており、MIDIにつきましても特別な思い出がありますが、当時と今とは環境がガラリと変わり、時代が要求するものも変わってきております。今後、MIDIをどのように発展させていくか、皆様と共に考えてまいりたいと存じます。

微力ではございますが、業界の発展のために貢献できますよう尽力して参りますので、ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。



村上 昇

株式会社インターネット 代表取締役

AMEI会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、理事に就任させて頂く事となりました。謹んでご挨拶申し上げます。

当社は、「Singer Song Writer」シリーズをはじめとするDAW/MIDIソフトウェアを開発、販売しておりますが、昨今、技術の進化、ネットなどビジネスを取り巻く環境の変化のスピードは目を見張るものがあり、その中で新しいビジネスチャンスが生まれてきております。

今後、CGM（Consumer Generated Media）など音楽に対するニーズ、利用の機会は益々大きくなるものと思われ、「楽曲の著作権処理」、「コンテンツ保護」、「コピー問題」など業界としての対応のスピードが重要になってきます。

また、AMEIの「骨格」のひとつである「MIDI」も今後さらに進化、推進していく必要があり、そのためにはAMEIの役割、活動は益々重要になってくると考えております。

微力ながら、精一杯努力し、協会の発展に貢献できれば幸甚に存じます。

会員の皆様のご支援、ご指導を賜りますよう、何卒、宜しくお願い申し上げます。



Ann Rollins

アップルジャパン株式会社 政策企画部長

My name is Ann Rollins and I am the Senior Manager, Government Affairs at Apple Japan. I am responsible for communicating with government officials in Japan and elsewhere in the Asia-Pacific Region, excluding China. In addition to promoting policies that allow for and promote continued innovation and development in the IT sector, I am also working to promote the development and distribution of Japanese digital content both domestically and abroad. Japan is a leader in the animation field and I am sure there is also strong talent in the music and entertainment sectors as well. I am hoping to learn more about this as a member of AMEI and also see how the consumer electronic and information technology industry can contribute to the promotion of Japanese digital content development. I look forward to working with the membership of AMEI.

Prior to joining Apple, I was the VP for Technology & Trade Policy at the Information Technology Industry Council (ITI) in Washington, DC. I worked on streamlining technical regulations on IT products by leveraging the local presence of ITI members based in Asia. I have a B.A. in Diplomacy & Foreign Affairs from Miami University of Ohio and an M.A. in International Trade Policy from the Monterey Institute of International Studies.



吉田 篤司 理事

株式会社エクシング 代表取締役社長

AMEI会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、このたびの通常総会におきまして理事に就任させて頂くことになりました。微力ではございますが、当協会の発展に尽力して参る所存ですので、ここに謹んでご挨拶申し上げます。

当社は1992年に通信カラオケにてネットワークを介したビジネスに参入し、その後も着信メロディなど一貫してネットワークに係わる事業領域において、プラットフォーム開発やコンテンツ制作・配信を行ってきました。ネットワークの進化は常に新しいビジネスチャンスを生み出すという強い信念のもと、既存ビジネスには飽き足りないマーケット・ユーザーに向けて新たな付加価値を提供していくという思いが私どもの原動力でございます。この10数年、通信カラオケや着信メロディのマーケットは確実に成長して参りましたが、AMEIが担ってきた重要な役割、そして、その活動と実績が、マーケット拡大に大きく貢献してきたものと強く感じております。

現在、私どもは「うたスキ」というサービスの普及に力を注いでおり、カラオケ店舗とWEB、さらにはモバイルをも繋いで、カラオケを契機として、新しい遊び方・楽しみ方の提案を進めております。ネットワークの先に繋がっているプラットフォームに垣根はなく、そこに集ってこられる多種多様な嗜好をもったユーザー一人一人に対して、ダイレクトに、且つ、ピンポイントにコンテンツやサービスをご提供していこうと考えています。国内市場に留まらず、「カラオケ」という日本発のカルチャーを、改めて、世界へ発信していくことも並行して努力しつつ、AMEIを通して、会員の皆様と一緒に様々な活動が出来ればと期待しております。微力ではございますが、業界の発展に貢献できるよう尽力してまいりますので、今後ともご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



新任監事挨拶

三木 康司

株式会社シーミュージック 代表取締役社長

AMEI会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、監事の大役を仰せつかることとなり、謹んでご挨拶申し上げます。

弊社は1990年設立の音楽制作会社であり、AMEI設立当初よりコンテンツを制作する立場からAMEIに関わって参りました。ここ10年デジタル機器等の発展、どんどん進化するモバイル機器、またインフラの整備高速化などにより周りの事業環境が急激に進化していく中、コンテンツ制作の現場におきましてもその急速な変化に常に対応すべく取り組んでまいりました。これからも更に進化する電子音楽事業の中、コンテンツ制作の立場でAMEIの活動を通じて業界の発展に少しでも役立てばと考えております。

微力ではございますが、会員の皆様のご指導、ご鞭撻を頂きながら、全力で取り組んでまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。



新任委員長、プロジェクトリーダー挨拶

戸叶 司武郎

ヤマハ株式会社 法務・知的財産部
知財センター NT知財グループ マネジャー

会員の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

このたび、副会長佐々木隆一氏の後任として著作権・ソフト委員長に就任させて頂きました。

佐々木氏がAMEI社団化以前から10年以上にわたり務めてこられた委員長を引き継がせて戴くことは大変なプレッシャーです。しかしこの重圧に惑わされることなく、「継承と深耕、そして進化」を着実に進めていく所存です。継承すべき点とは当委員会の透明性と公平性、そして会員相互の信頼関係です。JAS-RACなどとの使用料合意に至るまでの協議過程は常に公開し、ご意見や質問があればベテランも新規も難易度の区別も無く必ず発言の場をご用意してきました。会員企業同士は市場で常に厳しい競争をされていますが、権利ホルダーに対してはリスペクトしつつも会員全体が一枚岩となってビジネスに最適なルールを決めてきました。当たり前と思われるかもしれませんが、仲介業務法と著作権等管理事業法という特殊で不透明な法律の下でこのポリシーを貫いてきたAMEIとNMRCは高く評価されるべきと考えております。またソフト規格部会では楽器に内在する知的財産やデジタル楽譜の権利について長年にわ



たり地道で真摯な検討を重ね、その成果を徐々に皆様にご提供しつづけてまいります。

これらの継承と深耕を着実に進め会員相互の情報共有化を図る中から、会員企業の発展と社会貢献に支援できる「進化の種」を探っていくと考えております。その為の手法開拓として、事務局のお力添えを戴きながら部会活動・WG・勉強会の設置、他委員会・他団体との積極的な連携などに、新旧副委員長の皆さんと一丸となって取り組んでいきたいと思っております。

会員企業各位へのお願いは、当委員会へのマネージャークラスの皆様の随時参加です。MIDIに関わるビジネスをされる限り、新商品、新サービスやビジネスモデルが常に登場し、音楽著作権というクリアすべきハードルも必ずセットでついてきます。ハードル（リスクとコスト）の高さを予測しビジネスの意志決定をする際に当委員会を活用して戴き、合わせて毎月50名近く出席する定例会の参加各委員による熱い議論を聞いて頂ければ幸いです。皆様のご意見、ご要望をとりまとめるにはまだ力不足ではございますが、努力してまいる所存でございます。これからもご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

山本 真紀

株式会社フェイス プロダクトエンジニアリング部 部長

株式会社フェイスの山本真紀と申します。このたびMMI推進プロジェクトのリーダーを仰せつかりました。何卒よろしくお願い申し上げます。

私が新卒で音楽電子業界に入りました頃に誕生したMIDI規格が今も尚、各種演奏情報や制御情報伝達の主役の座を保持しているのみならず、ビデオ機器の制御のような新分野への展開もいまだに続いているとは驚きで、MIDIという規格の存在価値の高さを改めて感じざるを得ません。MIDI規格の応用分野として大きく市場が広がった着メロは、残念ながら近年その主役の座を着うたにゆずり、携帯機器の分野においての役割は一時期よりは縮小しつつあります。しかしMIDI規格の持つ自由度の高さの裏にはオーディオ信号に無い独自の遊び方がまだ隠れているのではないかと、楽器と言う視点から離れて、遊ぶ道具として、既にシンセサイザーとUIが搭載されている携帯機器を見直せば、そこに新しい市場が生まれ得るのではないかと、その市場は音楽電子事業業界全体で作り、成果を業界全体に還元できるのではないかと。

このような考えからMIDI規格委員会では昨期、MMI(Mobile Musical Interface) 規格を制定し、今年度よりその推進プロジェクトを立ち上げる事となりました。具体的には、AMEI会員企業様に公平に参加機会を持っていたり、規格対応機器と標準的なアプリケーションを広めて、会員企業様のお力添えで新たな市場を開拓して行く事を目指します。

各会員企業様におかれましてはMMI推進プロジェクトの主旨を何卒ご理解いただき、ご協力とご指導の程をよろしくお願い申し上げます。



(社)音楽電子事業協会 平成20年度役員名簿

★：新任役員

会 長	加藤 博万	ヤマハ株式会社 取締役専務執行役員
★副 会 長	近藤 公孝	ローランド株式会社 常務取締役
〃	佐々木隆一	株式会社エムティーアイ 取締役
〃	和田 康孝	株式会社第一興商 代表取締役社長
専務理事	岩崎 修三	社団法人音楽電子事業協会 事務局長
常務理事	加藤 世紀	株式会社コルグ 代表取締役社長
〃	袴 俊雄	JVCエンタテインメント株式会社 代表取締役社長
★理 事	Ann Rollins	アップルジャパン株式会社 政策企画部長
〃	赤松 憲樹	学校法人尚美学園 顧問
★	飯村 康弘	学校法人片柳学園 日本工学院 八王子専門学校 副校長
〃	大野 政昭	株式会社サミーネットワークス 代表取締役社長
★	大浜 和史	日本シンセサイザープログラマー協会 理事長
〃	踊 契三	ギガネットワークス株式会社 代表取締役社長
〃	加茂 正治	株式会社BMB 代表取締役社長

理 事	川田 敦昭	株式会社サイバード 代表取締役社長
〃	小清水 勝	株式会社フェイス 取締役
〃	小林 宏	株式会社ダウンゴ 代表取締役社長
〃	島村 元紹	島村楽器株式会社 代表取締役社長
〃	鈴木 洋三	カシオ計算機株式会社 専務取締役営業本部長
★	谷口 恵治	株式会社ヤマハミュージックメディア 代表取締役社長
〃	中川 利巳	株式会社鈴木楽器製作所 取締役社長
〃	英 裕治	ティアック株式会社 代表取締役社長
〃	飛河 和生	クリムゾンテクノロジーズ株式会社 代表取締役社長
〃	村上 二郎	株式会社河合楽器製作所 執行役員電子楽器事業部長
★	村上 昇	株式会社インターネット 代表取締役
〃	安富 和弘	株式会社セガ 顧問
〃	吉田 篤司	株式会社エクシング 代表取締役社長
監 事	大内 和衛	株式会社キューブ 代表取締役社長
★	三木 康司	株式会社シーミュージック 代表取締役社長
顧 問	梯 郁太郎	ローランド株式会社特別顧問
〃	日吉 昭夫	

MIDI規格委員会、製品安全環境委員会からのお知らせ

MIDI規格委員会

5月28日AMEI会議室にて12名が参加し、今年度第1回のMIDI規格委員会が開催されました。

最初に、5月15日に開催した通常総会について説明があり、その後、各部会からの報告がありました。

<MIDI 1.0部会>

MMIスタディグループでは、KDDIへ2回のプレゼンを行い、高い評価を得たので、第3回目の提案を現在計画中です。今後は、「MMI推進プロジェクト」としてMIDI規格委員会からは離れ、携帯電話以外への展開も視野にいった活動を開始しますが、MMAとの擦り合わせなど、MIDI規格委員会とも協力してまいります。

<技術研究部会>

「新しい楽器評価会」と題し、ケロミン開発者の有限会社トウロッシュ奥山社長に開発秘話やデモも含めてお話を伺いました。この日はワイヤレスMIDIを使った実験を行う予定があったため、ケロミンからワイヤレスMIDIを通して、外部音源を鳴らす動作確認も併せて行いました。

<MMAとの合同会議>

6月5日、6日の両日、MMAとの合同会議が開催されました。

この会議では、技術研究部会とのHDプロトコルに関するテーマに多くの時間が割り当てられましたが、著作権ソフト委員会GCP-WGから楽器内蔵コンテンツの著作権についてのプレゼンも行われ、活発な意見交換を行いました。

またMIDI 1.0部会でV-LINKの規格化作業がスタートした点なども共有されました。

今後のAMEI/MMA合同会議のスケジュールについて、7月末から9月初旬の間にアメリカにて開催することも確認されました。



製品安全環境委員会環境問題研究部会

REACHセミナーの開催予告について

2008年6月よりEUの新化学品規制REACHの予備登録が始まりました。

環境問題研究部会では、EUに製品を輸出する全ての企業に関係する、このREACHについてのセミナーを、9月下旬に浜松にて開催します。国際環境法規のエキスパートを招き、AMEI会員企業への影響とその対応方法について詳しく解説します。

REACHとは？

1992年のリオサミット（別名地球サミット）において地球環境における様々な問題が提起され「持続可能な開発」が国際合意されて以来、2002年には、人の健康と環境にもたらす著しい悪影響を2020年までに最小化する、化学物質管理に関する指針「ヨハネスブルグ実施計画」の採択が行われ、国際的な方向として、化学物質管理強化が進んでいます。近年、特にEUでは世界をリードする法規制が次々と出てきています。

2007年6月1日に、欧州の新しい化学品の規則が発効しました。

規則の名称は（Registration, Evaluation, Authorisation and Restriction of Chemicals）の頭文字をとってREACH（リーチ）と呼ばれています。

これは、欧州に流通する化学物質を、新規物質のみならず、既存物質も登録し、評価し、認可や、禁止、制限を行うことを目的とする規則となっています。（3万以上ある既存化学物質のリスク評価が従来の政府主導のやり方ではほとんど進んでいないことから、評価主体の責任を民間（＝生産者）に移す内容となっています。）また、これまで40程度あった化学品に関する規制を、全てREACHに一本化して置き換えることを目指しています。

規則の対象として、REACH規則では、製品を「物質」、「調剤」、「成形品」という3つの視点で捉えます。

したがって、EUに何らかの製品を輸出する企業は、全て影響を受ける事になります。

「物質」や「調剤」（液状・粉状の

材料など）を輸出する場合は登録の義務があり、評価義務の分担も必要となりますが、AMEI会員企業の製品は、ほとんどの場合「成形品」に分類され、これら「物質」や「調剤」についての義務はあまり必要ないと思われます。

製品「成形品」をEU域内に輸入した場合の義務は、

1. 従来よりEU法規で規制されていた物質は、REACHにおいても同様の規制となります。
2. 成形品中に「意図的に放出」される物質が含まれている場合、その物質の総和が年間1t以上の場合登録が必要となります。
3. 「認可対象候補物質（SVHC）」を0.1重量%以上含有している場合

①EUに輸入された全ての該当製品中のその物質の総和が年間1t以上あれば届出の義務があります。

②1t未満でも、要求があれば、製品の供給先や消費者に対し、その成形品を安全に使用するために十分な情報（少なくとも物質名）を、45日以内に提供しなければなりません。（ただし、2008年7月現在SVHCのリストが確定されていないため、確定後の対応が出来ると考えられます。SVHCは高懸念物質の略で、CMR（発がん性など）、PBT（難分解、高蓄積性、慢性毒性）、vPvB（難分解、高蓄積性）、内分泌かく乱物質らが候補となり、一説に総数は1400程度になるのでは、とされています）。



製品安全環境委員会
環境問題研究部会部会長
戸田 耕二

平成20年度事業計画（委員会活動）

（平成20年4月1日から平成21年3月31日まで）

1 全体活動

MIDI規格委員会にて規格化されたアクティブ着メロに関するMMI規格の推進を図ることを目的とし、MMI推進プロジェクトを新設する。

2 製品安全・環境委員会

＜活動方針＞

電子・電気楽器及び関連機器の安全性確保・環境対策を両軸とした、技術、法律、規格要求に関する諸問題の調査研究を、2つの専門部会が主体性を持って推進する事により、会員各社の専門知識、技術の習得とあわせて、市場に於ける製品の安全性や信頼性の向上及び製品の環境負荷の低減を目指す。更に、それに伴う会員企業の事業の安定化、事業リスクの低減等に寄与できるようにする。

●安全規格部会

「安全規格について」「EMCについて」「PLについて」動向の把握と情報交換外部委員会（JEITA各委員会等）への参画電気用品安全法自主依頼試験の実施

●環境問題研究部会

国内外の環境に関する法・規制等の動向調査及び情報交換

各社の法・規制対応に関する意見交換等の実施

グリーン調達調査共通化協議会(JGPSSI)への参画

*セミナー

2008年夏ごろに「中国版RoHS第2ステップについて」をテーマに開催予定。

3 MIDI規格委員会

＜活動方針＞

1. ネットワーク化が進む音楽市場に向けた技術研究テーマの推進。
2. AMEIとしてのIPポリシーの確立。
3. MIDIの新市場創造につながる各種規格の整備。
4. 規格、ロゴ、技術交流などAMEI入会メリットを強化。

＜事業計画＞

1. MIDIを用いた映像制御に関する規格のRP化
2. 音楽や電子楽器に関する様々な新規技術に関する検討。
HDプロトコルの制定を中心に新規技術の検討、USBの勉強会等。
3. IPポリシーの制定と会員の誓約書の締結
4. RP/CAに至らない技術の管理体制を新たに提案。

4 MMI推進プロジェクト

MMI規格の普及推進を目的とし、携帯電話キャリアへの規格・ロゴ並びにアプリ提案を視野に入れた活

動を行うと共に、アプリ開発やコンテンツ互換といった会員企業間での調整の必要がある事項に関して調整の場を用意する。

プロジェクトを7回開催予定。

5 著作権・ソフト委員会

1. 著作権等管理事業法の制定に伴い発生した問題点等を解決すべく関係団体と協力し文化庁に対する活動を引き続き活発に行う。又、様々な状況変化の中で発生する新しい問題に対して制度疲労を起こしていると考えられる部分については、関係省庁、管理事業者等に積極的に発信していく。
2. 定例会を通じ各部会の取り組み課題、協議状況をタイムリーに情報提供、会員の意見を吸収、各部会活動に反映させることにより活発な活動にする。

●カラオケ部会

1. JASRACとの使用料規程に関する見直しに関して継続協議。
2. イーライセンスと「業務用通信カラオケ規程」について継続協議。
3. 民生用カラオケWGにて情報交換・意見交換会を実施。

●音楽配信部会

1. 音楽配信に関わる問題点の情報交換・意見交換を定例会の場にて実施すると共にNMRCを通じて管理事業者との協議、関連団体との意見交換に反映させる。
2. 実務上の問題点の解決に向け、NMRC実務WG及びNMRC拡大実務WGを通じて管理事業者、関連団体との協議、意見交換に反映させる。

●ソフト規格部会

1. GCP-WG（電子楽器内蔵コンテンツ等の保護に関するWG）
統一見解書の事後活動（外国語対応の検討、Q&Aの作成等）
2. DMN-WG（MIDIデータの可視的表示に関するWG）
外国曲の許諾スキームの具体的提案を権利者に行い、実現に結びつける。

6 透かし推進プロジェクト

AMEIが提供する「標準MIDI電子透かし」（第1層）埋め込みツールであるMIDIsignを用いていて会員企業がISMC規格を利用するよう促進し、MIDIデータ作成販売におけるDRM（電子的権利保護）の仕組みを構築する。共通透かしの利用によりデータの違法複製抑止、並びに権利者からの円滑な許諾を獲得して業界の発展に寄与する。

プロジェクトは「技術WG」「運用WG」「普及展開WG」の3つのWGによって構成される。

7 メディアコンテンツ委員会

委員会単独ではなく、他の委員会と連携し、セミナー、勉強会等の活動を活発に行う。

今年度は映像制御に関するセミナーを検討、企画する。

8 MIDI検定委員会

＜活動方針＞

4級テキスト「ミュージックメディア入門」の改訂を機に、検定協力校での授業への組み込み促進を図り受験者増に結び付ける。

MIDI検定制度の見直し、強化を検討する。

＜事業計画＞

1. 検定試験

第11回MIDI検定試験3級、第10回2級筆記試験 平成20年12月7日（日）

第10回2級実技試験 平成21年2月 東京、東京Mac、大阪会場

4級認定講座：随時

2. MIDI検定1級の実施

委員会の検討にて今年度中の実施をめざす。

3. 中国に於けるMIDI検定試験

4. 指導者認定講座

9 事業委員会

他の委員会との連携によるセミナー、企画を検討実施する。

10 広報委員会

＜活動方針＞

外部に対する情報発信機能を充実し、当協会のアピールを強化すると共に、会員に対する情報提供機能の充実により会員への便益を強化し当協会の活動を側面からサポートする。

＜事業計画＞

1. 会報「AMEI News」の発行

年3回を計画

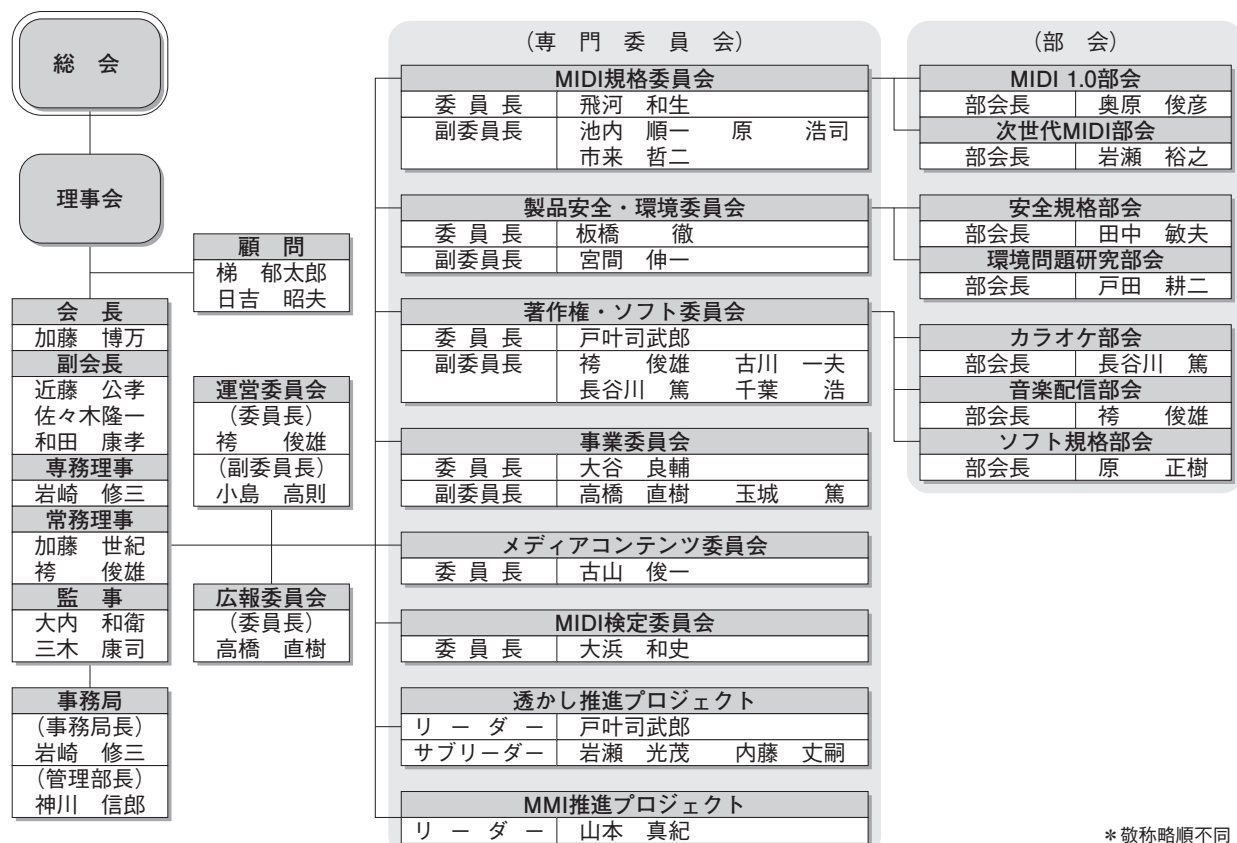
2. ホームページの充実

AMEIホームページのリニューアルの検討

各委員会、部会専用ページの強化

英語版ページのリニューアルについての検討

(社)音楽電子事業協会 平成20年度組織図



* 敬称略順不同

会員名簿

50音順 2008年7月11日現在

あ	JVCエンタテインメント株式会社	パナソニック モバイル コミュニケーションズ株式会社
アイデックス音楽総研株式会社	島村楽器株式会社	ひ
アップルジャパン株式会社	学校法人尚美学園	株式会社BMB
い	す	ふ
株式会社インターネット	株式会社ズーム	株式会社フェイス
インフォコム株式会社	株式会社鈴木楽器製作所	株式会社フォーサイド・ドット・コム
え	せ	フォスター電機株式会社 フォステクスカンパニー
株式会社エクシング	セイコーインスツル株式会社	株式会社フットレック
NECエレクトロニクス株式会社	株式会社セガ	へ
NTTコミュニケーションズ株式会社	そ	ベスタクス株式会社
株式会社エムティーアイ	ソフトバンクモバイル株式会社	み
株式会社エンターブレイン	た	株式会社ミュージックネットワーク
お	株式会社第一興商	ミュージックノート株式会社
沖電気工業株式会社	株式会社タイトー	や
株式会社音響総合研究所	株式会社ダイマジック	ヤマハ株式会社
か	株式会社タムラ製作所	財団法人ヤマハ音楽振興会
カシオ計算機株式会社	て	ヤマハミュージックトレーディング株式会社
株式会社河合楽器製作所	ティアック株式会社	株式会社ヤマハミュージックメディア
き	株式会社ディーアンドエムホールディングス	ら
ギガネットワークス株式会社	プロフェッショナル・ビジネス・カンパニー	株式会社ラグナヒルズ
株式会社キューブ	と	り
く	東映ビデオ株式会社	株式会社リットーミュージック
株式会社グリオ	有限会社トゥロッッシュ	株式会社リムショット
クリプトン・フューチャー・メディア株式会社	株式会社ドワンゴ	ろ
クリムゾンテクノロジー株式会社	に	ローランド株式会社
こ	ニフティ株式会社	〈正会員会社63社〉
株式会社コピーライツ ビジョン	学校法人片柳学園 日本工学院専門学校・日本工学	
株式会社コルグ	院八王子専門学校	*賛助会員
さ	日本シンセサイザープログラマー協会	中音公司 (中華人民共和国)
株式会社サイバード	学校法人電子学園日本電子専門学校	株式会社博秀工芸
株式会社サミーネットワークス	は	株式会社ミュージックトレード社
し	パイオニア株式会社	〈賛助会員会社3社〉
株式会社シーミュージック	株式会社ハドソン	

パイオニア株式会社



新入会員のお知らせ 5月15日の理事会で、パイオニア株式会社様の入会が承認されました。
弊社プロSV事業部では、MIDIを搭載したDJ機器を開発しております。今までの商品開発の経験を基に、MIDI規格の審議、利用促進などで本協会に貢献できれば幸いです。よろしく願いいたします。

第12回通常総会議事録の開示について

下記のAMEIホームページでご覧いただけます。

AMEIホームページ <http://www.amei.or.jp/> の会員専用ページ

会員専用ページへのアクセスはID及びパスワードの入力が必要です。

お忘れの方はE-mailにてお申込みください。

- 送付先：webmaster@amei.or.jp
- メール SubjectにAMEI member HP registration (半角文字に限る)
- 本文にお名前、E-mailアドレス、会社名、所属、TEL、FAXを記入のうえお申込下さい。

「ねんきん特別便」の広報用資料について

厚生労働省より、「ねんきん特別便」に関する周知・広報について協力依頼があり、上記AMEIホームページに掲載しました

AMEI NEWS Vol.36 / 2008.7.11
社団法人音楽電子事業協会 機関誌
発行：社団法人音楽電子事業協会 事務局
〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-16-9 イトービル4F
TEL.03-5226-8550 FAX.03-5226-8549
発行人：岩崎修三
編集人：高橋直樹 (広報委員会)
編集協力：株式会社 博秀工芸
ホームページアドレス：<http://www.amei.or.jp/>